



TITLE:

<記事>1.概要

AUTHOR(S):

CITATION:

<記事>1.概要. 瀬戸臨海実験所年報 2000, 13: 2-2

ISSUE DATE:

2000-12-25

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/178983>

RIGHT:

1. 概 要

□平成11年度

◎職員等の移動

- ・ 辻英祐事務官が農学部第一経理掛へ転出、飯間昭彦事務官が医学部経理掛から着任(平成12年4月1日)。
- ・ 栗原晴子氏が博士後期課程に入学(平成12年4月1日)。
- ・ 椿昭太氏が卒論生として配属(平成12年4月1日)。

◎行事・来訪者

- ・ 国立大学臨海臨湖実験所長会議(春季)(於お茶の水女子大学国立教育会館、東京)、白山義久教授出席(平成11年5月10日－5月11日)。
- ・ 招聘外国人学者として Genzano, G. N.氏(国立ラプラタ大、アルゼンチン)来日(6月8日－9月8日)。
- ・ 公開臨海実習講師として Hope, W. D.氏(スミソニアン博、米国)来日(10月2日－10月9日)。
- ・ 招聘外国人学者として Susetiono 氏(インドネシア科学院、インドネシア)来日(10月2日－10月31日)。
- ・ 日本学術振興会特定国派遣研究者として、久保田信助教授がイタリアへ外国出張(10月11日－平成12年3月28日)。
- ・ 国立大学臨海臨湖実験所公開臨海実習検討会(於熊本大学臨海実験所、熊本)、田名瀬英朋助手出席(11月8日－11月10日)。
- ・ 防火訓練(12月18日)。
- ・ 瀬戸臨海実験所年報12巻、Publications of the Seto Marine Biological Laboratory 第39巻1/2号発行(12月25日)。
- ・ 水族館休館(平成11年12月29日－平成12年1月3日)。
- ・ 水族館開館(1月4日)。
- ・ 招聘外国人学者として Othman B. H. R.氏(マレーシア国民大資源科学、マレーシア)来日(2月14日－3月27日)。

2. 臨 海 実 習

□平成11年度

例年の通り、京都大学理学部をはじめ諸大学の臨海実習が下記の通り実施された。

(大学・実習科目・実習期間・受講学生数)

京都大学理学部生物系臨海実習 I	7/25-8/1	延	96人・日
京都大学理学部生物系臨海実習 I	8/23-8/30	延	104人・日
京都大学理学部生物系臨海実習 II*	4/1-4/7	延	56人・日
京都大学理学部生物系臨海実習 III*	3/20-3/25	延	36人・日
京都大学理学部生物系臨海実習 IV	7/25-8/1	延	24人・日
京都大学理学部生物系臨海実習 IV	8/23-8/30	延	16人・日
京都大学院人間環境学研究科海洋化学実習	8/18-8/21	延	104人・日
京都大学院人間環境学研究科生物学臨海実習	2/22-2/31	延	72人・日
京都大学理学部瀬戸臨海実験所公開臨海実習	10/3-10/9	延	28人・日
和歌山大学教育学部生物学臨海実習(植物)	4/16-4/20	延	80人・日
大阪千代田短期大学磯観察実習	5/12-5/14	延	51人・日
奈良教育大学教育学部野外実習A-II(臨海実習)	5/17-5/22	延	102人・日